

二学期末テストでアウトプット

3年2組

矢継ぎ早に問題を出すHさんと楽々と答えを出してクリアするKさんとのリレー問答。



平成30年度の二学期末テストが13日(火)から始まりました。同テストは15日(木)まで。前日の3年2組さんの教室を参観してみると、2、3人のグループを組んで学び合いをしていました。問題の解き方を教えていたり、問題を出しあって答えたりして確認していました。テストは回数をおこなった方が、脳の記憶と再生の向上には良いと思っております。インプットとアウトプットを繰り返して、他の解答方法がないかを考える。見方を変える。視点を変える。図で考えてみる。グラフで傾向などを考える。問題の意図を探る。問題文



羽地中学校
学校だより 128号
せいりゅうおおかわ
H30.11.14



一人が問題を解いて、他の友に説明するの力になります



二人で解いて、答え合わせ



に解答ヒントがないか探して出題者が何を問おうとしているかを考える。問題文を何度も繰り返し読んで、どう答えたら正しいのか考える。問題に対して正確に答える。問題文を読み解く力が必要である。50分の解答時間を無駄なく使って、解答していく。集中力と学びに向かう力を鍛えよう。テストは3日間、午前1校時から3校時までです。ノート、ワークブック、プリント、メモ帳などの提出すべき資料も準備しておこう。テストだけで成績は向上しません。普段の積み重ねた

校内推薦申込み受付 受験事務始まる

平成31年度の県立高校推薦入学願書受付は、来年1月15日(火)・16日水に設定されています。羽地中学校進路指導部では、推薦入学希望者に対して、推薦入学希望者の校内審査申込み受付を開始いたしました。12日現在で、30余名の申込者があり、校内審査の準備を進めているところです。県立高校への推薦入学を希望する生徒は、来年3月に羽地中学校を卒業する見込みの者で、推薦入学志望学科に対する目的意識が明確であり、かつ、当該学科への興味・関心及び適性を有する者です。つまり、その学科をなぜ希望するかを明確に答えられなければなりませんし、希望学科への興味・関心があることを具体的にこれまでの学習や活動と関連づけて、説明できなくてはなりません。適性とは、その学科を学ぶために必要とされる知識や技能を持っている、また、将来にわたって学んだことを活用しようとする気持ちや姿勢が見られるか、です。

推薦の実績については、①自己表現 ②個性表現 の二通りから選択できます。①はこれまでの実績で、スポーツや文化活動での賞状やボランティア活動などの実績、英検、漢検、数検などの資格証明書です。個性表現は、芸術分野や文芸・研究分野や留学などの体験的分野での表現です。日頃の言動や学習に対する姿勢が評価されます。

当山杯ソフトテニス大会



10月14日(日)、県総経球場で行われた当山杯 沖縄県中学校ソフトテニス大会、1年男子で羽地中学校1年チームが3位に入賞しました。入賞おめでとう。1年男子は羽地、大宮、今帰仁、名護など8チームがエントリー。羽地は松島に3-0で勝ち進み、決勝リーグの与那原、小禄、東風平、羽地の4強リーグで勝敗を競いました。「決勝リーグ戦で一勝しかできなかった、とても悔しい。」とチームは語っていました。4強リーグ戦では、小禄に2-1で勝利しましたが、与那原に3敗、東風平に1-2と惜敗した。2年代表では18チームが出場し、羽地は石田に0-3で敗退。決勝リーグに進むことはできませんでした。2年女子は31チームがエントリー。1. 羽地は伊良波と対戦しましたが、1-2で敗退でした。朝練習には、いつものメンバー数名が参加し、午後の練習では交替で学校の美化活動を手伝っているソフトテニス部。元気で